

第2節 総合的な子育て支援施策の展開

1 地域における子育て支援の充実

(1) 地域子育て支援センターの充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)地域子育て支援センターの充実	○地域子育て支援センターの事業内容の充実を図り、身近な地域における仲間づくりを進めます。	B	開所日数：年間216日、利用者数：年間のべ1537組3478人。 出前保育や誕生会、季節の行事を取り入れ、事業内容の充実を図った。 新型コロナウイルスの感染症対策では、感染状況等により予約制で開所するなど、来所者が安心して利用できるよう努めた。	B	子育て支援課
(2)子育てに関する情報提供体制の充実	○地域子育て支援センター事業や公民館活動、その他乳幼児の子育てに関する情報提供体制の充実を図ります。	B	広報紙やホームページ、ガイドブックに掲載したり、保健センターや公民館等にチラシを配置したりして、子育てに関する情報を提供した。 在宅育児応援事業で訪問した際に、子育て支援センターすくすくの事業案内を行い、利用の促進を図った。	B	子育て支援課

(2) 地域全体で子育てを支援する体制の整備

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)幼稚園・保育園との連携強化	○幼稚園・保育園での未就園児事業は、未就園児への子育て支援において重要な役割を果たしています。幼稚園・保育園と関係機関との連携を強化し、町全体としての子育て支援機能の強化を図ります。	A	越生みどり幼稚園では、幼稚園の入園準備に向け、未就園児向けイベントを開催した。子育てパーティー：7回(のべ210人)、プレ幼稚園うさぎ組：26回(のべ260人)、園庭開放：7回(のべ35人) また、令和2年度から施設型給付の幼稚園に移行したため、幼稚園は、より町と連携を密にし、運営を行った。 山吹保育園では、未就園児がスムーズに保育園・幼稚園に接続ができるよう、併設の子育て支援センターすくすくに来所した子ども・保護者を対象に、保育園の行事等で交流を図った。	B	子育て支援課
(2)学校教育と社会教育の連携強化	○「梅の里おこせ子どもサポート事業」では、学校を通じて参加者を募集していることから、毎回、多くの子どもたちの参加を得ることができています。 ○今後は、事業の計画段階から学校の参加を進めるなど、学校教育と社会教育の連携を強化していきます。	E	ウキウキクッキング教室(中止) 梅サボ室ひまわりチャンピオン大会(中止) 梅サボ室ひまわり体育館開放(7~12月)月1回：参加者計47人	B	生涯学習課
(3)学校・家庭・地域の連携強化	○現在、保護者や地域住民による学校行事への協力や、登下校と一緒に歩いていただくなどの活動を行う学校応援団などの取組が行われています。 ○今後とも、家庭を含む地域全体で学校教育を支援する体制づくりを推進するため、学校応援団の充実を努めます。	B	学校応援団を中心に校内環境整備などを実施した。 年間を通じ登下校の見守りを実施(スクールガード・見守りボランティア) 「おこせ元気づき通信」(梅の里おこせ子どもサポート協議会/発行)に開催事業を掲載し、幼稚園・保育園、小学校を通じて、園児、児童に年6回(うち2回は発行中止)配付している(中学校には校内掲示のみ)	B	学務課 生涯学習課
(4)地域全体で子育てを支援する意識の普及	○見守りボランティアの増員、地域支え合いサービス事業の普及、子どもの一時預かりなど、地域住民による子育て支援活動を充実します。 ○幼稚園・保育園、学童保育室での高齢者との交流、イベントでの昔遊びの指導など、多世代交流を実施していきます。 ○子どもと地域の大人があいさつできる地域づくりを進めます。	E	登下校時見守りボランティアは1名減となり、地域支え合いサービスも新型コロナウイルス感染症防止対策により活動自粛期間があったため、活動実績は伸びていない。 保育園・幼稚園、学童保育室では、新型コロナウイルスの感染症対策で高齢者の交流のイベントは中止した。 令和元年度の「越生町子ども議会」で発議された「あいさつ推進宣言」を活用しながら、各校あいさつ運動を行うなど、あいさつを推進している。 あいさつ運動を、春休み・冬休み明けの7日間実施(夏休み明けは中止)。通学時の児童、生徒の安全を図るため、PTA保護者に、学校周辺の通学路や交差点等に立哨をお願いしている。	B	社会福祉協議会 子育て支援課 学務課 生涯学習課
(5)利用者支援事業の推進	○満1歳の誕生日を迎えたお子さんに祝品を支給し、満1歳の誕生日を地域全体で祝福します。また、祝品にはウッドスターとして越生町の木材「西川材」を使用します。 ○満2歳の誕生日を迎えたお子さんを在宅にて子育てしている家庭に、訪問して絵本を手渡し、地域とのつながりを持てるきっかけとなるよう支援します。	A	1歳のお誕生日に、町長と子育て支援課職員で訪問し、西川材で製作された積み木と玩具をプレゼントした。44名。 在宅育児応援事業では、満2歳の誕生日に子育て支援課職員が訪問し、絵本をプレゼントするとともに、子育て支援事業や保育園・幼稚園について案内・紹介したり、子育ての悩みなどを聞いた。子育て支援課職員との関係を築くとともに、コロナ禍で在宅で育児する保護者が孤立することがないよう努めた。20件21名。	B	子育て支援課 産業観光課

2 家庭における子育て支援の充実

(1) 家庭における子育ての力を高める支援の充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)家庭教育の充実	○幼稚園・保育園においては、園だよりの発行の他、子育て相談等を実施し、日常のかかわりの中で家庭教育の重要性を伝えています。 ○小学生・中学生のいる家庭を対象に「PTA家庭教育学級」や「子育て講演会」を開催するとともに、より多くの保護者が参加できるよう、周知方法等の改善に努めます。	E	保育園・幼稚園では、園だよりの啓発のほか、適宜子育て相談に応じた。 保育園では、登園自粛期間中、在宅で過ごしている家庭に積極的に連絡した。 越生みどり幼稚園では、休園期間中、工作の材料などを送ったり連絡したりした。 子育て支援センターすくすくでは、保育士が子育て相談に応じた。 PTA家庭教育学級(中止)	B	子育て支援課 生涯学習課
(3)「親」としての意識啓発の充実	○子育ての第一義的な責任を有する「親」としての意識を高めるため、町ホームページや広報紙等により啓発活動を行います。 ○幼稚園・保育園、学校、学童保育室をはじめ、母子保健事業、生涯学習事業等、様々な事業において、親育みの視点を取り入れていきます。	E	広報おこせ11月号で周知・啓発した。 中学校では、例年3年生を対象に家庭科の授業において、3園で「幼児とのふれあい体験」を実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から未実施。 保育園・幼稚園では、一日保育士体験や園だよりで啓発を行った。 母子保健では、家族単位での食育のため、保育園、幼稚園で食育のリーフレットを配布した。 生涯学習課では、今後、各校のPTA役員と連携を図りながら、親としての意識を高めるための事業を検討する。	B	子育て支援課 学務課 健康福祉課 生涯学習課

(2) 経済的支援の充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)子どもの医療費支給事業の推進	○支給対象年齢を18歳年度末までとしています。また、町内及び毛呂山町の指定医療機関において窓口払い無料化を実施しています。今後も継続して実施していきます。	B	認定者数：未就学児329人、小学生432人、中学生250人、高校生272人、合計1,283人(R3.3.31時点) 指定医療機関：65機関	B	子育て支援課
(2)保育料等に関する負担軽減の充実	○令和元年10月から幼児教育・保育の無償化により3歳から5歳の子どもの保育料と、0歳から2歳の非課税世帯の子どもの保育料が無償となりました。更に、第3子以降の保育料無料を継続します。 ○無償化に伴い、副食費が保護者負担となりましたが、副食費についても、第3子以降無料化を実施していきます。 ○学童保育室保育料についても非課税世帯等の減額を実施していきます。	B	町独自の第3子以降の保育料無料化分：10人 町独自の第3子以降の副食費免除分：28人 学童保育室減額対象者：非課税世帯10人、ひとり親世帯16人、多子世帯(同時利用)15人	B	子育て支援課
(3)児童手当の普及・啓発	○児童手当の対象となる世帯が確実に利用できるような制度の普及・啓発に努めます。	B	広報紙、ホームページ、ガイドブックに掲載し周知した。出生届、転入届時に同時に手続きを行い、漏れのない手続きを行った。	B	子育て支援課
(4)出生祝金の支給の充実	○出生祝金支給事業は、出生を祝福するとともに、その健やかな成長を祈念し、第1子は10,000円、第2子は30,000円、第3子以降は100,000円支給します。	A	出生祝金：第1子：20人 第2子：10人 第3子：5人 国の特別定額給付金の対象とならなかった新生児(令和2年4月28日以降に出生し、越生町に住民登録された子ども)の保護者に新生児特別定額給付金として10万円を支給した。支給対象者：28人、支給対象児童：29人	B	子育て支援課

事業成果：A期待以上の成果を上げた B期待どりの成果を上げた C期待どりの成果をあげていない D実施していない E新型コロナウイルス感染症により期待どりの成果をあげていない・実施していない
今後の予定：A拡充 B継続 C見直し D廃止

(5)チャイルドシートの購入費一部助成事業の普及・啓発	○チャイルドシート購入費の一部助成事業は、10,000円を限度として、チャイルドシート購入費の一部助成を実施しています。事業の普及・啓発に努めます。	B	広報紙、ホームページ、ガイドブックに掲載し周知した。助成件数:26件	B	子育て支援課
(6)ベビーベッド貸出事業	○乳児の保護者に対し、6か月以内(満1歳に達する日まで延長可)、無料でベビーベッドを貸し出します。	B	28件申請(うち11件延長)	B	子育て支援課
(7)予防接種費用の一部助成事業の普及・啓発	○インフルエンザ予防接種、おたふくかぜ予防接種、大人の風しん予防接種の費用の一部助成を実施しています。事業の普及・啓発に努めます。	B	インフルエンザ予防接種1回目3,000円、2回目2,000円を上限に助成。おたふくかぜ予防接種費用助成。風しん抗体価の低い、妊娠を望む女性とその夫等に風しん予防接種費用の一部助成。	B	健康福祉課
(8)ウエルカム赤ちゃん事業	○平成27年度から、経済的負担の軽減を図るため、不妊治療の費用の一部を助成します。夫婦1組につき1年度当たり1回、10万円を限度とし、通算で5年度助成します。制度の普及・啓発に努めます。	B	早期不妊検査費申請件数:3件、不妊治療費申請件数:2件	B	健康福祉課
(9)新生児聴覚検査費用助成事業	○新生児期の入院中または外来で実施した聴覚検査費用のうち、5,000円を上限に助成します。	B	新生児聴覚検査申請数:31名(結果は全員パス)	B	健康福祉課
(10)産後健診推進事業	○産後おおむね1か月頃に行う産後健診を受けたものに対し、1人につき1回5,000円を上限に助成し、産後の健康管理をサポートします。	B	申請数 33名	B	健康福祉課
(11)妊婦タクシー利用料金助成事業	○妊婦に対し、1回の乗車につき1枚(初乗り運賃相当額)、28枚を上限に、妊婦タクシー利用券を交付します。	B	利用件数 のべ36件(8名の妊婦が利用)	B	健康福祉課
(12)英語検定受験料半額助成事業	○町立小・中学校を準会場として英語検定を受験した小学3年生から中学3年生までの児童生徒に年間1回、受験料の半額を助成します。	B	検定料助成件数95人 総額156,300円	B	学務課
(13)第3子以降学校給食半額補助事業	○町立小・中学校に同時に在籍している第3子以降の給食費の半額を補助します。	A	新型コロナウイルス感染症拡大により学校が休校となり各家庭の負担を軽減するため、令和2年度は第3子以降関わらず、給食費を全額公費負担とした。	B	学務課

3 親と子の健康と福祉の充実

(1) 一人ひとりに対応した母子保健の推進

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)子育て世代包括支援センターの充実	○保健・医療・福祉・教育と連携を図りながら、妊娠、出産、育児と一貫した母子保健体制を確立しており、今後とも、この体制の充実を目指します。	B	各機関と連携を図りながら、子育て世代包括支援センターにおいて妊娠、出産、育児と一貫した母子保健体制をとっている。	B	健康福祉課
(2)保健・医療・福祉・教育との連携による母子保健の推進	○幼稚園・保育園との情報交換をするための「母子保健関係者連絡会」をはじめ、地域子育て支援センターとの連携を強化します。 ○学校保健との連携についても、養護教諭と情報交換を随時行います。	B	母子保健関係者連絡会:4回 巡回相談等に保健師も参加することで情報交換を行っている。	B	健康福祉課
(3)すべての子育て家庭と身近な関係となる母子保健の推進	○すべての出生児を対象に訪問相談指導を実施しています。今後とも一人ひとりの状態に応じた継続的な支援を行っていきます。	B	新生児乳幼児訪問指導37件(延41件)	B	健康福祉課

(2) 母子保健事業の充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)乳幼児健康診査・妊婦健康診査の充実	○乳幼児健康診査では、子どもの健やかな成長のために、疾病の早期発見や発育・発達の確認、育児などの相談支援を実施しています。また、妊婦健康診査については、14回の助成券の交付を行っています。 ○管理栄養士・保健師の確保・研修の強化などマンパワーの量的・質的な充実に努めます。	B	妊婦健康診査 ①31人、②29人、③21人、④28人、⑤29人、⑥26人、⑦32人、⑧25人、⑨25人、⑩27人、⑪26人、⑫25人、⑬21人、⑭16人 乳幼児健康診査:4回、1歳6か月児健康診査:3回、3歳児健康診査:3回	B	健康福祉課
(2)乳幼児健康相談の充実	○「妊婦健康相談」、「新生児電話相談」、「育児相談」などにおける相談・支援を実施していきます。 ○今後も引き続き、保健センター内のみでなく子育て支援センター内での育児相談も継続し、連携を図ります。	B	妊婦健康相談:のべ38人、新生児電話相談:のべ33人、育児相談:のべ305人(21回)	B	健康福祉課
(3)乳幼児健康教育の充実	○「ママの教室」や「離乳食実習」、「わくわく栄養講座」などにおいて、食育の推進をはじめとした教育の充実及び健康づくりを図ります。	B	ママの教室(集団)1回(個別)1回 のべ7人 離乳食相談3回(のべ9人)、わくわく栄養講座1回(のべ14人)	B	健康福祉課
(4)乳幼児等への訪問指導の充実	○「妊産婦訪問指導」や「新生児・乳幼児訪問指導」、「未熟児訪問指導」を実施し、保健・医療・福祉との連携を図りながら、きめ細かな訪問指導を行います。	B	妊産婦訪問指導36件(のべ49件)、新生児乳幼児訪問指導37件(のべ41件)、未熟児訪問指導1件(のべ5件)	B	健康福祉課
(5)歯科保健事業の充実	○乳幼児期のむし歯は身体・精神面へ悪影響を及ぼすおそれがあるため、今後も歯科検診、歯科保健指導、歯科教室等の充実を図ります。	B	2歳児歯科教室:のべ16人(実施回数1回)、ブラッシング指導(1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査時):のべ31人(実施回数2回)	B	健康福祉課
(6)小児医療の充実	○近隣市町村及び関係機関との連携の下、病院群輪番方式による救急医療体制を継続的に確保します。また、救急電話相談#7119の普及啓発に努めます。	B	病院群輪番方式による救急医療体制の継続の確保に努めている。#7119については乳幼児健診の通知等にカードを同封し、普及啓発している	B	健康福祉課
(7)学童期・思春期から成人期に向けた保健対策相談体制の充実	○思春期保健は、学校保健活動の中で行われているため、今後、学校を中心に生命の尊厳に関する教育、飲酒・喫煙・薬物に関する正しい知識の指導の充実を目指します。 ○相談に関する専門的知識の向上を図るため、相談支援に関わる職員や保健師等の資質の向上に努めます。	B	生命の尊厳は、小中学校の道徳の授業を中心に行い、中学校においては、発達段階に応じた性に関する指導を実施した。また、中学校の保健体育を中心に、飲酒・喫煙・薬物に関する指導を行い、7月に薬物乱用防止教室を実施した。 県等が実施する研修に参加した。	B	学務課 健康福祉課

(3) 児童虐待防止対策の充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)子育て世代包括支援センターにおける児童虐待の発生予防・早期発見・早期対応	○保護者の育児不安の解消を図るため、子育て世代包括支援センターを通じて、保護者への相談指導等を実施するとともに、児童虐待の発生予防の観点から、妊娠からの継続した支援の充実を図ります。	B	妊婦健康相談:のべ38人(随時)、妊婦電話相談:のべ17人(随時)、新生児電話連絡:のべ33人(随時)、育児相談(保健センター内・子育て支援センターすくすく):のべ305人(実施回数21回)	B	健康福祉課
(2)子育て相談の充実	○利用者支援事業をはじめ、子育て全般の相談を受け付けて、育児不安の解消に努め、必要に応じて専門機関等につなげます。	B	窓口や訪問による相談で、育児不安の解消に努めた。相談件数:22件。	B	子育て支援課
(3)子どもの権利擁護の推進	○体罰によらない子育てを推進するため、体罰や暴力が子どもに及ぼす悪影響や体罰によらない子育てに関する理解が深まるように、子育て世代包括支援センター等関係機関や、幼稚園、保育園、学校により普及啓発活動を行います。	B	関係機関にポスターやチラシを配布し、啓発を行った。 広報おごせ11月号で周知・啓発した。	B	子育て支援課 健康福祉課 学務課
(4)「要保護児童対策地域協議会」の充実	○地域の関係機関が情報の収集、共有により支援を協議する「要保護児童対策地域協議会」を設置し、要対協調整担当者を配置して適切な支援に努めています。 ○児童相談所の専門性や権限を要する場合に、児童相談所に適切に援助を求める等、関係各機関と相互に協力して連携の強化を図ります。	B	代表者会議:1回、実務者会議:2回、個別ケース検討会議:13回開催した。 児童相談所と連携して家庭訪問等を実施した。	B	子育て支援課
(5)幼稚園・保育園、学校との連携による児童虐待早期発見・早期対応の強化	○児童虐待が疑われるケースは幼稚園・保育園、学校で発見されることが多いため、速やかに連絡・通報が受けられるよう連携の充実を図ります。	B	保育園・幼稚園では、子どもの言動や着替え時等の視診などにより、虐待の早期発見に努めた。担当課と各施設において、速やかに連携し、常に情報の共有を行っている。 学務課では、虐待の早期発見、早期対応について、担当課と学校との速やかな調整を行った。関係課、学務課及び小中学校の連携を密にし、常に最新の情報を共有できている。	B	子育て支援課 学務課

(4) ひとり親家庭等の自立支援の推進

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)ひとり親家庭等への支援の充実	○医療費の自己負担分の助成や児童扶養手当の支給、保育所への優先入所、町営住宅への優先入居等を行っています。 ○医療費の助成は経済的負担の一部を軽減するものであるため、今後、経済的負担をさらに軽減するための制度の充実を国・県に要望していきます。	B	ひとり親医療費支給対象者 母子家庭:82家庭、父子家庭:2家庭 児童扶養手当受給者:79家庭	B	子育て支援課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どりの成果を上げた C期待どりの成果をあげていない D実施していない E新型コロナウイルス感染症により期待どりの成果をあげていない・実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(2)ひとり親家庭等に対する相談・情報提供の充実	○ひとり親家庭等の様々なニーズに対応するため、関連各課と連携し、相談・援助事業の充実に努めます。 ○就業支援については、埼玉県西部福祉事務所の就業支援専門員との連携に努めます。	B	関係各課と連携し、相談・援助事業の充実に努めた。 チラシを窓口で配布し、制度の周知を行った。	B	子育て支援課
--------------------------	---	---	---	---	--------

(5) 障がい・発達に遅れのある子どもへの支援

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)障がいの早期発見・早期療育の充実	○障がいの原因となる疾病等の早期発見・早期療育を推進していくため、各種健康診査やこどもの発育相談等の充実を図ります。 ○また、子どもの健全な発達を支援するため、未熟児医療や自立支援医療(育成医療)の給付のほか、保健・医療・福祉・教育関係機関の連携を強化します。	B	こどもの発育相談:のべ24人(10組)(実施回数4回) 未熟児養育医療5件(1ケース)、自立支援医療(育成医療):1人	B	健康福祉課
(2)障がい児に対する相談・支援体制の充実	○障がいや発達に遅れのある児童一人ひとりの具体的な状況を把握し、きめ細かな相談・支援を推進します。 ○発達が気になる子どもへの早期支援を推進するため、幼稚園・保育園等にて保育士等に助言・指導を行う「発達支援巡回事業」を実施していきます。	B	障害児通所サービス利用者20名の内、障害児相談支援利用者12名。 こどもの発育相談:のべ24人(10組)(実施回数4回) 子どもの発達支援巡回相談事業を町内の4施設にて実施(越生保育園、山吹保育園、越生みどり幼稚園、すくすく)全4回、委託先:光の家療育センター	B	健康福祉課
(3)障がい児に対する福祉サービス・生活支援の充実	○障がいや発達に遅れのある児童一人ひとりに応じた支援を行うため、「越生町障がい者計画・越生町障がい福祉計画・越生町障がい児福祉計画」に基づき、各種事業を実施します。 ○育児相談等によりフォローアップの必要な子どもに個別対応していきます。	B	児童発達支援利用者:5名、放課後等デイサービス利用者:15名 育児相談(保健センター・子育て支援センターすくすく):のべ305人(実施回数21回)	B	健康福祉課

4 仕事と子育ての両立支援

(1) 多様な保育サービスの充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)保育サービスにおける待機児童数ゼロの推進	○保育所入所については、待機児童なしの状況が継続しています。今後とも引き続き待機児童を発生させないようにするとともに、保育の質の向上に努め、子育てをしている方が安心して働くことができる環境づくりに努めます。	B	待機児童:0人 越生保育園では保育士会等の研修に参加し、保育の質の向上に努めた。民間施設では、保育士のキャリアアップを推進するため、処遇改善等加算の認定に努めた。 保育園・幼稚園ともに、補助金を活用し、感染対策を講じながら運営にあたった。	B	子育て支援課
(2)低年齢児保育の充実	○現在、低年齢児保育を町立越生保育園では生後6か月から、私立山吹保育園では生後4か月から実施しています。今後とも、育児休業後に円滑に利用できるような確保に努めます。	B	0歳児保育利用(4月の児童数→3月の児童数) 越生保育園:3人→5人、山吹保育園:6人→6人	B	子育て支援課
(3)時間外保育の充実	○時間外保育事業は認可保育所2園で午後7時まで実施しています。ニーズ調査(就学前児童調査)では、午後7時以降の希望としては、午後7時30分までが3.5%、8時までが2.0%の状況ですが、当面は現体制を維持しつつ、需要の動向を注視していきます。	B	午後6時31分以降の時間外保育利用 越生保育園のべ7人、山吹保育園のべ390人	B	子育て支援課
(4)一時預かりの充実	○保育所での一時預かりについては、山吹保育園では保護者のリフレッシュ目的も可能なサービスとして4か月児～未就学児を対象に実施しています。一方、越生保育園では保護者の社会的理由に対応したサービスとして3歳児～未就学児を対象に実施しています。今後は、越生保育園におけるリフレッシュ目的の受け入れ及び低年齢児の受け入れについて検討します。	B	越生保育園:0人、山吹保育園:のべ16人	B	子育て支援課
(5)休日保育の検討	○現在、越生保育園では土曜日の午後1時までの保育を実施し、山吹保育園では土曜日の午後5時までの保育を実施しています。今後、ニーズの動向を注視しながら、越生保育園における土曜日の保育時間の延長について検討します。	B	土曜日利用平均児童数 越生保育園:2人、山吹保育園:10人	B	子育て支援課
(6)病児・病後児保育の検討	○ファミリー・サポート・センターによる病児・病後児緊急サポート事業を周知し、利用を促進します。	B	ファミリー・サポート・センターの病児・病後児保育利用:0人(ほかファミリーサポート:53件、緊急サポート:23件) サポート会員の講座を開催した。2名受講し、サポート会員になった。 町内の保育園、幼稚園、学童保育室、小学校就学時健診等において、パンフレットの配布を行い、周知を図った。	B	子育て支援課
(7)保育所や学童保育室における障がい児の受け入れ体制の充実	○障がいのある子どもに対し、保育所や学童保育室の受け入れ体制を整備するとともに、保育士や職員の資質向上を目指します。	B	保育士を加配して障害児を受け入れた。	B	子育て支援課
(8)学童保育室の充実	○学童保育を必要とするすべての児童に、学童保育が提供できるよう努めます。 ○保育指導の質的向上を図るため、学童保育室の支援員に対する研修を行います。 ○ニーズ調査を踏まえ、平日の利用時間の延長について検討します。	E	新型コロナウイルス感染症による小学校休校時の利用は、利用制限を行った。また、補助金を活用して、感染対策を講じながら運営した。 放課後児童支援員認定資格の取得に努めるなど、積極的に研修を受講した。	B	子育て支援課
(9)預かり保育の推進	○幼稚園の通常の教育時間終了後も引き続き、家庭的な雰囲気の中で園児を預かることができる「預かり保育」の実施を推進します。	B	越生みどり幼稚園:211日、のべ601人(町外児童含む) 令和2年度に施設型給付に移行したことに伴い、町が預かり保育に対する補助金を支給した。	B	子育て支援課

(2) 仕事と子育てを両立するための普及啓発

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)男女共同参画意識の高揚	○越生町女(ひと)と男(ひと)の情報誌「ハンド&ハンド」の発行により、父親の育児参加など男女共同参画に関する情報を幅広く提供することで町民の意識啓発を進めます。 ○男女共同参画に関する講演会やセミナーを通じて、仕事と子育ての両立を普及、啓発します。 ○「越生町男女共同参画プラン」の推進を図るため、男女共同参画に関する情報収集をします。	E	広報紙2月号で「女性消防団」を特集 新型コロナウイルス感染症の拡大により講演会を中止 第4次男女共同参画プラン作成	B	総務課
(2)育児・介護休業制度の周知・啓発	○労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるように育児・介護休業制度の周知・啓発を促進します。	B	母子健康手帳交付時に、パンフレットを配布した。広報紙等で周知・啓発した。	B	子育て支援課 産業観光課
(3)ワーク・ライフ・バランスに基づく子育て支援の推進	○働きながら子育てをしていくために、事業主に対し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)や子育てに対する理解と協力を啓発します。	B	広報おこせ11月号で周知・啓発した。	B	子育て支援課 産業観光課

5 子どもの個性を生かす教育

(1) 豊かな心と体を育む教育の充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)教職員の指導力向上	○教員の指導技術等の向上を目指した研修を定期的実施し、指導力の向上に努めます。 ○各校内で実施される研修と連携しながら、さらなる研修の充実にも努めます。	B	校内研修のほか、越生毛呂山班の研修会等により、指導力の向上に努めた。令和2年度に導入した一人1台整備したタブレットパソコン端末については、どの教員も同じレベルで学習指導ができるように、研修会を開催した。	B	学務課
(2)食育に関する授業の充実	○給食委員会の活動、家庭科や保健体育の授業を通じて、正しい食習慣の形成などについて啓発活動を行っています。 ○また、養護教諭や栄養教諭による正しい食習慣の形成等についての指導、啓発に努めます。	B	各学校とも給食委員会の活動が積極的に行なった。 栄養教諭を中心に小学校低学年から正しい食習慣について学習できるようにした。年間を通じ、食育だより等で啓発を行った。	B	学務課

事業成果:A期待以上の成果を上げた B期待どりの成果を上げた C期待どりの成果をあげていない D実施していない E新型コロナウイルス感染症により期待どりの成果をあげていない・実施していない
今後の予定:A拡充 B継続 C見直し D廃止

(3)きめ細かな教育の充実	○個に応じた指導により子どもたちが確かな学力を身につけられるよう、各小・中学校に学習支援員等の非常勤補助教員を配置し、きめ細かな指導体制を整備するとともに、指導方法及び指導形態の工夫・改善に努めます。	B	35人学級実施のための臨時講師を配置した。その他各小中学校に学習支援員や介添員を配置し、きめ細やかな指導を行うことができた。	B	学務課
(4)幼・保・小・中連絡協議会の充実	○幼稚園、保育園、小学校、中学校の連携を図るための連絡協議会を開催し、情報の共有化による一貫した支援体制の充実に努めます。	B	就学支援員会を開催した。(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から第1回、第3回は書面会議)	B	学務課
(5)道徳教育の充実	○町が独自に作成した「3つのあ」を普及するとともに、学校の授業や家庭、地域の教育活動全体を通して道徳教育の充実に努めます。	B	越生町小中一貫教育リーフレットを活用し、児童生徒、教職員、保護者の共通理解を図り、「規律ある態度」の育成を図った。	B	学務課
(6)体力を向上できる環境の充実	○体力向上推進委員会を組織し、授業研究を通して児童・生徒一人ひとりの体力向上を図ります。	B	体力向上委員会を実施(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、第2回・第3回は書面開催とし、第4回はオンラインで実施。)	B	学務課
(7)児童・生徒へのカウンセリングの充実	○不登校児童生徒適応指導、不登校児童・生徒の自立と学校生活への適応を図り、不登校を解消できるように指導、支援していきます。 ○スクールカウンセラーの来校、さわやか相談員、スクールソーシャルワーカーを越生中学校に配置しており、生徒への個別面談を行うとともに、小学校から中学校へと円滑に進めるように、小学校との連携を強化します。 ○すべての教員が児童・生徒に対して適切な対応がとれるよう、小・中学教員へのカウンセラーの資格(初級・中級・上級)取得を進めます。	B	月に2回程度のスクールカウンセラーの来校のほか、越生中学校にさわやか相談員及びスクールソーシャルワーカーを配置し、児童・生徒や保護者の相談及び指導を行っている。また令和2年度から適応指導教室指導員を1名配置した。	B	学務課
(8)学校評議員制度の充実	○令和元年度から学校運営協議会制度を本格的に実施しています。学校、家庭、地域が一体となった教育を実現するための組織づくりに努めます。	B	学校運営協議会を年3回実施した。校長が策定した学校運営方針を承認するなど、学校・保護者・地域が目標を共有し、より連携・協働した学校運営をすることができた。	B	学務課
(9)町有林を活用した体験学習の提供	○森林とふれあう機会の少なくなった子どもたちに里山を身近な学びの場として提供するため、町有林の管理を行い、学習環境づくりに寄与します。	B	令和2年12月に梅園小学校5年生を対象に新さくら山公園で間伐体験を実施した。	B	産業観光課 学務課

(2) 子どもの豊かな遊びと体験の充実

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)芸術文化活動の充実	○青少年の豊かな心を育むため、芸術文化とふれあう機会の充実に努め、文化活動の促進と地域に根ざした文化継承が図られるように支援します。	E	子どもおはやし大会(中止)、秋の文化祭(中止)	B	生涯学習課
(2)多様な体験ができる機会の提供	○地域の方を講師に招聘し、6分野12講座からなる「越生子ども未来大学」を開設し、越生町の教育資源を活用し、様々な体験活動を通して、科学的思考や芸術性の素地を伸ばします。 ○子どもの創造性や好奇心を養うため、様々な体験講座の内容等を検討し、参加者の増加を図ります。 ○放課後子供教室について、検討します。	E	越生子ども未来大学(中止) 子どもフェスティバル(中止)	B	学務課 生涯学習課
(3)様々な交流機会の充実	○子ども会やスポーツ少年団、ジュニアリーダーの活動を通して、地域的な交流機会の充実に努め、子どもたちの自主性や協調性、心豊かな青少年の健全育成を目指します。 ○体育館を学校教育の管理運営に支障がない範囲で開放し、体育の普及や健康の保持増進、その他の社会体育活動の向上を図ります。	E	かるた大会(町予選会中止、県大会中止)、ドッジビー大会(中止)、リーダー研修会(中止)、スポーツ少年団(全7団)の活動の支援 ミニバスケットボール少年団、野球少年団などが定期的に使用	C	生涯学習課
(4)スポーツ環境の整備	○地域において、子どもがスポーツや外遊びを通じて体を動かすことができる機会を提供し、生涯を通じてスポーツに親しむことができる環境の整備を推進します。	E	梅の里ちびっ子駅伝大会(中止)	B	生涯学習課

6 子育て・子育てを支援す

(1) 安心して遊び、生活できる環境の整備

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)公園の環境整備	○公園の維持管理を計画的に実施し、子どもたちが安心してのびのびと遊べるように遊具等の点検や管理を行います。	C	各公園遊具の安全点検、草刈り、樹木剪定を実施した。 また、五大尊花木公園の手摺設置等の工事を実施した。	B	まちづくり整備課 産業観光課
(2)子育て家庭にやさしい環境づくり	○公共施設については建設・改修にあわせ、親子に配慮したトイレ等の改修など、子ども子育てに配慮した快適でゆとりある環境の整備を行うとともに、ユニバーサルデザインを取り入れるよう配慮していきます。 ○町民や民間施設などへのバリアフリーに関する意識啓発に努めます。	B	越生駅西口の「越生駅すてきな交流拠点」について、埼玉県福祉のまちづくり条例に適合させた新築工事を実施した。	B	まちづくり整備課 健康福祉課
(3)道路環境の整備	○保護者が子どもと一緒に安心して外出できる安全な道路環境の創出を目指し、危険箇所等の改修及び防護柵等の設置を推進します。	B	シルバー人材センターに委託し、月4回道路パトロールを実施し、小規模な舗装の修繕等を実施した。 また、橋梁点検24種を実施し、小杉地内天溝槽の耐震補強工事を実施した。 さらに、危険箇所へのカーブミラーの新設及び老朽化等による交換修繕等を実施し、消しかかった横断歩道、外側線等の路面表示を修繕した。	B	まちづくり整備課
(4)環境汚染対策の推進	○PM2.5や光化学スモッグ警報が発令された場合は、速やかに関係機関に連絡し、防災行政無線で周知します。 ○給食の食材の放射性物質検査を実施していきます。	B	PM2.5や光化学スモッグ警報は発令されなかった。 4, 5, 8月を除く月1回、給食食材の放射性物質測定を実施した。	B	まちづくり整備課 学務課 子育て支援課

(2) 子どもの安全を確保するための活動の推進及び環境の整備

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)交通安全・防犯教育の推進	○子どもを交通事故から守るため、警察、幼稚園、保育園、学校、関係団体等との連絡・協力を強化し、交通安全教室の充実に努めます。 ○正しい自転車の乗り方についての体験学習や交通安全指導などを行い、交通安全の啓発を促します。 ○子どもを犯罪から守るため、防犯知識の普及と啓発を実施していきます。 ○小学校6年生全員に卒業記念品として、通学用ヘルメットを給付していきます。	E	防犯・交通安全啓発DVDの作成。町内各小中学校、幼稚園、保育園への配布。 交通安全啓発マスコットキーホルダーの作成。新入生、園児への配布。 小学6年生全員へ、卒業記念品として通学用ヘルメットを給付。	B	総務課
(2)「子ども110番の家」の周知	○登下校時などに子どもが不審者から声をかけられたり、追いかけられたりした場合、助けを求めて駆け込むための「子ども110番の家」の理解と周知を図り、子どもの安全確保に努めます。	B	一般家庭や店舗、企業等に協力をいただいている。 令和3年3月末現在の登録数は、112件。今後も、この趣旨に賛同していただき、1件でも多く登録していただけるようピーアールに努める。	B	生涯学習課

(3) 子どもを犯罪から守るための活動の推進及び環境の整備

施策名	施策内容	事業成果	具体的な事業実績	今後の予定	担当課
(1)有害環境対策における教職員研修の実施	○学校において適切な情報教育を行うため、コンピューター活用委員の職員を中心に情報モラルに関する職員研修を実施します。	B	ICT活用委員会を実施し、情報モラルの理解を深めた。また、各学校でICT活用委員から全職員へ中心し、理解を深めた。	B	学務課
(2)SNS等の安全・安心な利用の啓発	○子どもがインターネット等の利用に際して、事件や犯罪に巻き込まれないよう、保護者及び子どもに対して安全・安心な利用の啓発を実施します。	B	情報モラル教室を開催し、児童・生徒のSNSの利用に対する意識・啓発に努めた。	B	学務課
(3)防犯灯等の整備	○夜間における犯罪の防止と通行の安全を守るため、地域の状況を踏まえた防犯灯等の整備を推進します。	B	区長申請に基づきLED防犯灯の新設及び既存道路照明灯のLED化の推進した。	B	まちづくり整備課
(4)防犯パトロール活動の充実	○子どもを犯罪から守るため、各地区の自主防犯組織を育成していくとともに、駅前防犯パトロール隊の活動を支援していきます。 ○見守りボランティアによる登下校時の見守りを地域各所で実施していきます。 ○町職員による下校時の防犯パトロールを実施していきます。	E	駅前防犯パトロール活動は、コロナの影響により7月～3月の活動となった。 登下校時見守りボランティアの活動実績として、登録ボランティアは1名減、前年度とほぼ同様の活動内容となった。 町職員によるパトロールは、コロナの影響により9月～3月の実施となった。	B	総務課 社会福祉協議会

事業成果：A期待以上の成果を上げた B期待どりの成果を上げた C期待どりの成果をあげていない D実施していない E新型コロナウイルス感染症により期待どりの成果をあげていない・実施していない
今後の予定：A拡充 B継続 C見直し D廃止